

蓮華温泉

Renge Onsen
(新潟県糸魚川市)



ロッジ外観

白馬岳登山をする場合、JR 白馬駅から猿倉までバスで登り、そこから大雪溪経由で山頂を目指し、山頂で 1 泊、翌日は蓮華温泉へ下山するコースが最も一般的である。蓮華温泉から JR 平岩駅まではバスが運行している。すなわち、蓮華温泉は白馬岳登山をしない人でも、マイカーで気軽にアクセスできる山岳温泉なのである。

しかし、そのアクセス道はかなり厳しい道路だ。国道 148 号線から延々 20km ほどの山道となる。特に、蓮華温泉まで 7.4km 地点のところから先が厳しい。ここから先は冬期閉鎖の道路だ。道幅は狭く、カーブミラーの数もぐっと減る。しかし、路線バスが運行している道である。普通の車なら、慎重に運転すれば問題はない。

標高約 1,500m。蓮華温泉では下界とは全く異なる新鮮な空気を味わうことができる。ここからは、春になると山岳スキーのメッカになる雪倉岳の大斜面が見える。そして、蓮華温泉ロッジは、その山岳スキーの基地となるのだ。

さて、蓮華温泉は 4 つの露天風呂とロッジ内にある内湯で構成される。まずはロッジのフロントで入浴料を支払い、露天風呂散策へと出かけよう。4 つの露天風呂を巡るためには、歩くだけで約 30 分かかる。そして、登山道を歩くことになるので、最低でも運動靴が必要だ。

ロッジの裏手の斜面にある案内看板のところから歩きだそう。登り始めて 10 分もかからずに「三国一（さんごくいち）の湯」に到達する。この露天風呂は非常に小さい。1 人でもかなり狭い。足湯にしかならないような規模だ。しかも湯温がかなり低い。40℃くらいだろうか。ここはパスをしてさらに坂道を登る。

5分ほど歩くと源泉の湯気が見えてくる。ここが「仙気（せんき）の湯」だ。振り返ると絶景である。湯温は適温。定員は4人くらいだ。展望の良い露天風呂を楽しみたいのなら、ここがベストであろう。


さらに登ると「薬師の湯」がある。ここは定員2人。湯温はかなり熱めだ。もちろん展望も良い。

仙気の湯へ戻り、別のルートで5分ほど下ると「黄金（おうごん）の湯」がある。定員4人ほどで湯温は適温だ。ここには展望はないが、高山植物を楽しめる。さらに下っていけば、案内看板へと戻る。尚、露天風呂はすべて混浴で、脱衣室はない。

さて、今度はロッジ内にある内湯「総湯」へ向かう。脱衣室には籠があり、貴重品ロッカーもある。浴室には洗い場が7個あり、リンスインシャンプー、ボディークリームも完備している。カランはサーモスタット混合栓。ここが山小屋であることを忘れてしまいそう。浴槽は定員15人ほどで、湯は少し白濁している。足を入れてみると、猛烈な熱さだ。

蓮華温泉は、自然が生み出した天空の温泉である。ありがたくいただくことにしよう。白馬岳万歳。

名 称	泉 質	効 能	
三国一（さんごくいち）の湯 	酸性－アルミニウム－硫酸塩泉	動脈硬化症、慢性皮膚病、きりきず、やけど	神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき、慢性消化器病、痔疾、冷え性、病後回復期、疲労回復、健康増進
仙気（せんき）の湯 	単純酸性泉	慢性皮膚病	
薬師湯 	酸性－硫酸塩泉	動脈硬化症、慢性皮膚病、きりきず、やけど	

<p>黄金（おうごん）湯</p> 	<p>マグネシウム炭酸水素塩泉</p>	<p>慢性皮膚病、きりきず、やけど</p>	
<p>総湯</p> 	<p>酸性硫化水素型含硫黄温泉</p>	<p>高血圧、動脈硬化症、糖尿病、慢性皮膚病、きりきず</p>	

- 名称：蓮華温泉
- 所在地：新潟県糸魚川市蓮華温泉
- 電話：090-2524-7237
- 営業時間：宿泊客は 9：00～翌 7：30（21：00～翌 7：30 はカラン使用不可）、日帰り客は 10：00 頃～15：00 頃
- 定休日：無休（冬期（10月20日頃～3月20日頃）は閉鎖）
- 入浴料：宿泊客は無料、日帰り客は大人 800 円、小人 500 円（露天風呂だけ入浴の場合は大人 500 円、小人 200 円）
- サウナ：なし
- テレビ：なし
- 取材日：2012 年 7 月 13 日（金）
- 取材：銭湯愛好会・東京支部